

# 東京工業大学 情報生命博士教育院



# 「生命」×「情報」 複合分野で活躍するリーダーを育てる

## 複合領域の教育プログラム立ち上げ牽引

生命科学と情報科学という最先端の分野を結びつけ、生命×情報という複合分野でグローバルに活躍できる人材を養成する「情報生命博士教育院（ACLS: Education Academy of Computational Life Sciences）」を展開している。これは、最高学府にふさわしい世界的に高レベルな大学院教育を推進するための文部科学省支援事業「博士課程教育リーディングプログラム（平成23年度開始）」に採択されたプログラムの一つである。中でもこのACLSは、

生命科学と情報科学という最先端の分野を結びつけ、生命×情報という複合分野でグローバルに活躍できる人材を養成する「情報生命博士教育院（ACLS: Education Academy of Computational Life Sciences）」を展開している。これは、最高学府にふさわしい世界的に高レベルな大学院教育を推進するための文部科学省支援事業「博士課程教育リーディングプログラム（平成23年度開始）」に採択されたプログラムの一つである。中でもこのACLSは、



情報生命博士教育院 院長 青木 隆志

# グローバルに輝き放て 文科省がプログラム支援

## 生命系と情報系の学生が協働 主専門に優れ副専門に通じた「I」型人材輩出へ

東京工業大学では、急速に進展する生命科学と情報科学という最先端の分野を結びつけ、生命×情報という複合分野でグローバルに活躍できる人材を養成する「情報生命博士教育院（ACLS: Education Academy of Computational Life Sciences）」を展開している。これは、最高学府にふさわしい世界的に高レベルな大学院教育を推進するための文部科学省支援事業「博士課程教育リーディングプログラム（平成23年度開始）」に採択されたプログラムの一つである。中でもこのACLSは、

生命と情報という大きくかけ離れた異分野を結びつけた複合分野で、互いの分野を理解して協力し合い、問題解決できる能力を備え、産業界でグローバルに活躍できる人材として、独自の「I」(カン)で、型人材を提唱し、その養成を目指す挑戦的なプログラムである。そこで、本紙では「生命×情報 複合分野で活躍するリーダーを育てる」東京工業大学 情報生命博士教育院」と題して、その取り組み概要と、主要な教員、そこで積極的に関与している学生たちの話をまとめて特集することにした。

## 新たな大学院教育に明るい希望

秋山 泰典 (ACLS専任教授、大学院情報理工学教育院教授)

私たちが目指しているのは、従来の大学院教育とは異なる、生命と情報の複合分野で活躍できる人材を育てることです。生命と情報の複合分野で活躍できる人材を育て、産業界でグローバルに活躍できる人材として、独自の「I」(カン)で、型人材を提唱し、その養成を目指す挑戦的なプログラムである。そこで、本紙では「生命×情報 複合分野で活躍するリーダーを育てる」東京工業大学 情報生命博士教育院」と題して、その取り組み概要と、主要な教員、そこで積極的に関与している学生たちの話をまとめて特集することにした。



## 高度な国際コミュニケーション能力を要求 多彩な実習や海外経験で英語力も強化

国際的な環境で活躍するリーダーを育てるためには、高度な国際コミュニケーション能力を要求する。多彩な実習や海外経験を通じて、英語力も強化される。

国際的な環境で活躍するリーダーを育てるためには、高度な国際コミュニケーション能力を要求する。多彩な実習や海外経験を通じて、英語力も強化される。

## 起業家精神育成やキャリアパスなど 産学官民連携による教育を展開

産学官民連携による教育を展開し、起業家精神育成やキャリアパスなどをサポートする。

産学官民連携による教育を展開し、起業家精神育成やキャリアパスなどをサポートする。

## メンタリングや成長記録管理、奨励金など きめ細かい指導と手厚いサポート

メンタリングや成長記録管理、奨励金など、きめ細かい指導と手厚いサポートを提供する。

メンタリングや成長記録管理、奨励金など、きめ細かい指導と手厚いサポートを提供する。

## 学生たちが大きく育つのが嬉しい

2分野を学ぶ学生の努力に報いたい

山崎 隆典 (ACLS専任教授、大学院情報理工学教育院教授)

生命と情報という大きくかけ離れた異分野を結びつけた複合分野で、互いの分野を理解して協力し合い、問題解決できる能力を備え、産業界でグローバルに活躍できる人材として、独自の「I」(カン)で、型人材を提唱し、その養成を目指す挑戦的なプログラムである。そこで、本紙では「生命×情報 複合分野で活躍するリーダーを育てる」東京工業大学 情報生命博士教育院」と題して、その取り組み概要と、主要な教員、そこで積極的に関与している学生たちの話をまとめて特集することにした。

## 0から1を生む人材に育ってほしい

恵まれたチャンスを活かしてほしい

山崎 隆典 (ACLS専任教授、大学院情報理工学教育院教授)

生命と情報という大きくかけ離れた異分野を結びつけた複合分野で、互いの分野を理解して協力し合い、問題解決できる能力を備え、産業界でグローバルに活躍できる人材として、独自の「I」(カン)で、型人材を提唱し、その養成を目指す挑戦的なプログラムである。そこで、本紙では「生命×情報 複合分野で活躍するリーダーを育てる」東京工業大学 情報生命博士教育院」と題して、その取り組み概要と、主要な教員、そこで積極的に関与している学生たちの話をまとめて特集することにした。

## 異分野との協働、海外など多彩な経験で視野拡大

### 学生5人 メッセージ

- 高徳 晃子** 大学院生命理工学教育院 博士後期課程2年
 

私の専門は発生生物学で、時を対象にした研究をしています。情報分野の知識を生命の研究に活かしたいと思いACLSに参加しました。実際に情報分野について学んでみて、自分の研究に活かせることがわかりました。やはり革新的なことを実現するには、自身の領域に閉じこもることなく、専門以外の領域にも積極的に挑戦することが大事だと実感しています。
- 奥野 未来** 大学院生命理工学教育院 博士後期課程2年
 

修士課程1年の終わりで、自分の専門分野をさらに広げたいという思いから、ACLSに参加しました。情報分野の知識を生命の研究に活かしたいと思いACLSに参加しました。実際に情報分野について学んでみて、自分の研究に活かせることがわかりました。やはり革新的なことを実現するには、自身の領域に閉じこもることなく、専門以外の領域にも積極的に挑戦することが大事だと実感しています。
- 矢野 雅大** 大学院生命理工学教育院 博士後期課程1年
 

DNA情報のコンピュータ解析が私の専門です。修士課程2年、自分の専門分野をさらに広げたいという思いから、ACLSに参加しました。情報分野の知識を生命の研究に活かしたいと思いACLSに参加しました。実際に情報分野について学んでみて、自分の研究に活かせることがわかりました。やはり革新的なことを実現するには、自身の領域に閉じこもることなく、専門以外の領域にも積極的に挑戦することが大事だと実感しています。
- アレハンドラ・メヒア・トバル** (コロンビア出身) 大学院総合理工学教育院 修士課程2年
 

私は、再生医療のための生体工学の研究をしています。修士課程2年、自分の専門分野をさらに広げたいという思いから、ACLSに参加しました。情報分野の知識を生命の研究に活かしたいと思いACLSに参加しました。実際に情報分野について学んでみて、自分の研究に活かせることがわかりました。やはり革新的なことを実現するには、自身の領域に閉じこもることなく、専門以外の領域にも積極的に挑戦することが大事だと実感しています。
- 水口 佳紀** 大学院生命理工学教育院 修士課程2年
 

私は、再生医療のための生体工学の研究をしています。修士課程2年、自分の専門分野をさらに広げたいという思いから、ACLSに参加しました。情報分野の知識を生命の研究に活かしたいと思いACLSに参加しました。実際に情報分野について学んでみて、自分の研究に活かせることがわかりました。やはり革新的なことを実現するには、自身の領域に閉じこもることなく、専門以外の領域にも積極的に挑戦することが大事だと実感しています。